

久米 雅 (くめ まさし : KUME Masashi)

食物栄養学科

【職 名】 講師

【最終学歴】 日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了

【学 位】 博士(体育科学)

【専門分野】 運動生理学、温熱生理学

【担当科目】 体育、健康とスポーツ I、卒業研究、健康増進論

【所属学会】 日本体力医学会、日本生気象学会

【研究課題】・ヒトを対象とした暑熱および寒冷環境下における体温調節反応

・夏季の運動パフォーマンス低下防止についての検討

【主な教育研究及び社会的活動】

(1)論文:

- ・水循環スーツを着用した運動時の体温調節反応と冷却面積,冷却容量との関係、筆頭著者、体力科学、58、pp.109-121 (2009.2)
- ・水循環スーツ着用時の熱抽出量,皮膚温,皮膚血流と運動時の深部温変動との関係、筆頭著者、日本生気象学会誌、46、pp.159-168 (2009.12)
- ・The influence of the internal and skin temperatures on the active cutaneous vasodilation under different levels of exercise and ambient temperatures in humans、共著、International Journal of Biometeorology、DOI number10.1007/s00484-012-0586-y (2012.9)
- ・女子大学生における体力の短期的推移、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第 52 集、pp.115-122 (2014.3)
- ・Differences in the heat stress associated with white sportswear and being semi-nude in exercising humans under conditions of radiant heat and wind at a wet bulb globe temperature of greater than 28°C、共著、International Journal of Biometeorology、58、DOI 10.1007/s00484-013-0733-0 (2014.7)
- ・WBGT 28°C以上の輻射環境下における四肢部露出の有無が運動時の温熱ストレスに与える影響、共著、日本生気象学会雑誌、51(4)、pp.127-139、(2015.1)
- ・フリップジャンプの回転数が膝関節と股関節の角度変位に与える影響、共著、京都文教短期大学研究紀要、第 53 集、pp.91-96、(2015.3)
- ・Lower limb muscle activation patterns and physiological responses obtained using binding pedals during bicycle exercise: The differences of the subjects.、共著、Advances in exercise and sports physiology、21(1)7-15、(2015.04)
- ・フィギュアスケートにおける体幹活性化ウォーミングアッププロトコル、共著、京都文教短期大学研究紀要 52 集、pp.183-187 (2016. 3)

【その他特記事項】

(1)研究費の獲得:

科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、高温環境におけるスポーツ競技者のコンディショニングに関する調査的研究、研究分担者(2014.4~2017.3)